

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家こども発達センター（児童発達支援）				公表日	令和7年 2月 12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	階段は滑り止めマットを敷いている。床には目印にできるようカラーテープを貼っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日々、清掃・消毒を行っている。	お昼寝をする場所と活動している場所を、パーテーションで分けるなどして、環境を整えていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	療育室や、利用者が少ない部屋を使用するようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	ミーティングや普段のやりとりで共有している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	専門職ミーティングを行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	半年毎の面談やアセスメントシートを使い、分析している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	子どものカリキュラムファイルに挟んでおり、いつでも確認できる。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	発達検査の所見を見て、得意・不得意を把握している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	気付いた点は業務連絡ノートに記入し、次の日に確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	業務連絡ノートや療育カルテに記入し、確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	幼・保とお子さんの情報交換をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に丁寧にお伝えするようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者交流会を実施している。	行っている事を周知していく必要がある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの棚へ入れ、しっかり管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	口頭や手紙、メールなど、様々な手段を使っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	変更点があれば、全員が目を通すようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	毎月、様々な避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待研修を行い、意識を持つようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家こども発達センター（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ～ 2024年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ～ 2024年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理士や言語聴覚士などの専門職があり、専門的な視点で療育が行える。	集団と個別の両方の視点から療育ができ、お子様の強みを伸ばしたり、幼稚園、保育園、進学に向けての課題への取り組みができる。	個別療育で行ったことを他の支援員と共有し、集団療育でも取り入れていく。
2	それぞれの利用者様のニーズにあった利用の仕方(回数や時間)を選択できる。	幼稚園後の利用、個別療育のみの利用や、園との併用など様々な利用方法を提案し、選択してもらえるようにしている。	学期ごとや、半年ごとなど、保護者様に園の様子を聞き、利用日数を変更していく。
3	幼稚園、保育園への送迎を行っている。	担任の先生とお子様の情報共有をしたり、施設でうまくいった対応方法を伝えたりしている。	園からのご希望があれば、お子様の支援について丁寧に話をする場を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングなどの周知がうまくできていない。	複数のテーマでの開催や回数を増やし、参加しやすいように工夫していく。	お手紙だけでの周知ではなく、直接声をかけ、参加の確認をしていく。
2	事業所として、地域のお子様との交流が少ない。	ご希望されない保護者様もいる為、事業所としての交流が難しい。	幼稚園、保育園の送迎時などに園の先生とお話をし、関係を密にしておく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 波の家こども発達センター（児童発達支援）

公表日 令和7年 2月 12日

利用児童数 30

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		2	・走り回れるスペースがある。 ・ぶつからないよう工夫されている。 ・個別療育でも体を動かせるスペースがあればいい。	国の基準を満たしていることを契約時や面談時に伝えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			2	・とても手厚く見てくれている。 ・幼稚園より多く安心できる。	国の基準より多い職員を配置していることを契約時や面談時に伝えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			2	子どもの目線に合わせた置き方で自分で選べるようになっている。	よりお子様にわかりやすいように工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		2	・きれいにしている。 ・冬、少し寒く感じる。 ・別の階にも部屋があるといい。	季節に応じた室内温度の管理ができるように、気を付けていきます。別の階に部屋を作るのは難しい為、パーテーションなどを考えます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23			1	・充実している。 ・子どもに合った支援だと思う。 ・わかりやすくされている。 ・子どもに寄り添い、気持ちが楽になるようなカウンセリングをしている。	保護者のご希望やご意見も聞き、お子様に合った支援を提供できるようにします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			2		わかりにくい内容があればその都度お伝えしています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				・子どもの今の姿になりたい姿を共有できている。 ・親とは違った見方で見てくれ、理解してくれている。	今後もしっかりご意見を聞き、作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2			・本人に合った内容が設定されている。 ・親とは違った見方で見てくれ、理解してくれている。	今年度から計画書が変更になっていることを再度お伝えします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1			・親とは違った見方で見てくれ、理解してくれている。	日々の療育内容をよりわかりやすく伝えていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2			・多彩な活動で、子どもも楽しんでいる。 ・親とは違った見方で見てくれ、理解してくれている。	日々の活動をお伝えする機会を作ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	2	10	利用したことがないのでわからない。	現状交流は難しいが、ご希望があれば考えていきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	2			・わかりやすく説明があった。 ・急な場所の変更で戸惑った。	契約時や面談時に丁寧に伝えるようにしていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					今後も丁寧に説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	2			・子どもを肯定的に見てくれ、子どもの良いところを見て、成長を喜ぶことができる。 ・保護者の送迎もしてほしい。	今後、様々なプログラムを検討しており、実施する際にはお伝えします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	2			・いつも丁寧に様子を教えてくれる。 ・保護者にも温かく関わってくれる。	状況の共通理解ができるようにお話の機会を作り、困り事や悩みをお聞きしていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		1	保護者の気持ちにも向き合ってくれている。	面談以外にも希望に応じてお話をする機会を作ることを伝えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1			子どものことをとても理解してくれ、感謝している。	保護者やお子様のお話を聞き、より良い支援が行えるようにしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	6		6	コロナ禍で機会がなかったが、次回参加予定です。	きょうだい同士の交流は、現状難しいと考えています。保護者会は、今後予定していますので、開催が決まりましたらご案内させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			2	不安なことや困っていることにすぐ対応してくれありがたい。	いつでも相談を受け付けるようにしています。面談時にも何かあればいつでも時間をつくることを伝えます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22			2		お子様に対しては、絵や写真などでわかりやすく伝えていくようにします。保護者様へは、口頭でのお伝えに加え、メールやお手紙などでもお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1			通信は通っている場所のもののみでも充分です。	今後、相談して検討させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2		2		鍵付きのロッカーに保管していることを、面談や契約時に伝えていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		2		面談や契約時にお伝えし、ご希望があればお見せするようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		4	通っている期間が短いのでわかりません。	月1回行っており、行った際にはお伝えします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		2		面談や契約時にお伝えし、安全に十分配慮して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2		5	その状況になったことがないのでわからない。	何かあれば、電話や直接お伝えするようにします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2		1	・子どもにとって安心できる場所になっている。 ・場所が変わり、まだ慣れていない。	お子様の不安が取り除けるよう配慮していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	3		1	・すごく楽しみにしている。 ・いつも楽しかったと言いながら帰ってくる。 ・毎回嬉しそうに話してくれる。	楽しんでいただけるプログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2			・いつも子どもに寄り添って支援してくれ感謝している。 ・これからよろしくお願いします。	ご満足いただけるようご意見を聞き、取り入れていくようにします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
波の家こども発達センター（放課後等デイサービス）		令和7年 2月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	階段は滑り止めマットを敷いている。床には目印にできるようカラーテープを貼っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日々、清掃・消毒を行っている。	宿題に取り組む場所と活動している場所を、パーテーションで分けるなどして、環境を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	療育室や、利用者が少ない部屋を使用するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	ミーティングや普段のやりとりで共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	専門職ミーティングを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	半年毎の面談やアセスメントシートを使い、分析している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	子どものカリキュラムファイルに挟んでおり、いつでも確認できる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	発達検査の所見を見て、得意・不得意を把握している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	気付いた点は業務連絡ノートに記入し、次の日に確認できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	業務連絡ノートや療育カルデに記入し、確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	本人が主体で考えられるように、本人の気持ちを始めに聞くようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校とお子さんの情報交換をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に丁寧に伝えるようにしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者交流会を実施している。	行っている事を周知していく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		

保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの棚へ入れ、しっかり管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	口頭や手紙、メールなど、様々な手段を使っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	変更点があれば、全員が目を通すようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	毎月、様々な避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待研修を行い、意識を持つようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家こども発達センター（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ～ 2024年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ～ 2024年 8月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理士や言語聴覚士などの専門職があり、専門的な視点で療育が行える。	集団と個別の両方の視点から療育ができ、お子様の強みを伸ばしたり、幼稚園、保育園、進学に向けての課題への取り組みができる。	個別療育で行ったことを他の支援員と共有し、集団療育でも取り入れていく。
2	それぞれの利用者様のニーズにあった利用の仕方(回数や時間)を選択できる。	個別療育のみの利用など様々な利用方法を提案し、選択してもらえるようにしている。	学期ごとや、半年ごとなど、保護者様に学校の様子を聞き、利用日数を変更していく。
3	学校への送迎を行っている。	担任の先生とお子様の情報共有をしたり、施設でうまくいった対応方法を伝えたりしている。	学校からのご希望があれば、お子様の支援について丁寧な話をする場を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングなどの周知がうまくできていない。	複数のテーマでの開催や回数を増やし、参加しやすいように工夫していく。	お手紙だけの周知ではなく、直接声をかけ、参加の確認をしていく。
2	事業所として、地域のお子様との交流が少ない。	ご希望されない保護者様もいる為、事業所としての交流が難しい。	学校の送迎時などに園の先生とお話し、関係を密にしておく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 波の家こども発達センター（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 5

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					国の基準を満たしていることを契約時や面談時に伝えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					国の基準より多い職員を配置していることを契約時や面談時に伝えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					よりお子様にわかりやすいように工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					季節に応じた室内温度の管理ができるように、気を付けていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					保護者のご希望やご意見も聞き、お子様に合った支援を提供できるようにします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					わかりにくい内容があればその都度お伝えしています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					今後もしっかりご意見を聞き、作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					今年度から計画書が変更になっていることを再度お伝えします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					日々の療育内容をよりわかりやすく伝えていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1		1		日々の活動をお伝えする機会を作ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				2		現状交流は難しいが、ご希望があれば考えていきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					契約時や面談時に丁寧に伝えるようにしていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					今後も丁寧に説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					今後、様々なプログラムを検討しており、実施する際にはお伝えします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					状況の共通理解ができるようお話の機会を作り、困り事や悩みをお聞きしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					面談以外にも希望に応じてお話をする機会を作ることを伝えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					保護者やお子様のお話を聞き、より良い支援が行えるようにしていきます。
保護者 への 説明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					きょうだい同士の交流は、現状難しいと考えています。保護者会は、今後予定していますので、開催が決まりましたらご案内させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					いつでも相談を受け付けるようにしています。面談時にも何かあればいつでも時間をとることを伝えます。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					お子様に対しては、絵や写真などでわかりやすく伝えていくようにします。保護者様へは、口頭でのお伝えに加え、メールやお手紙などでもお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					今後、相談して検討させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					鍵付きのロッカーに保管していることを、面談や契約時に伝えていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				2		面談や契約時にお伝えし、ご希望があればお見せするようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		月1回行っており、行った際にはお伝えします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				2		面談や契約時にお伝えし、安全に十分配慮して支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				2		何かあれば、電話や直接お伝えするようにします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	1				お子様の不安が取り除けるよう配慮していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	1				楽しんでいただけるプログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					ご満足いただけるようご意見を聞き、取り入れていくようにします。